

取扱説明書

ラジオカセットレコーダー

品番 **RX-M40A**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト

「**CLUB Panasonic**」で

「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスはWEB限定のサービスです。

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2010

VQT2Z83-1 F0610NJ1044

仕様

■ラジオ部

受信周波数 : FM ; 76.0 ~ 108.0 MHz
AM ; 525 ~ 1629 kHz

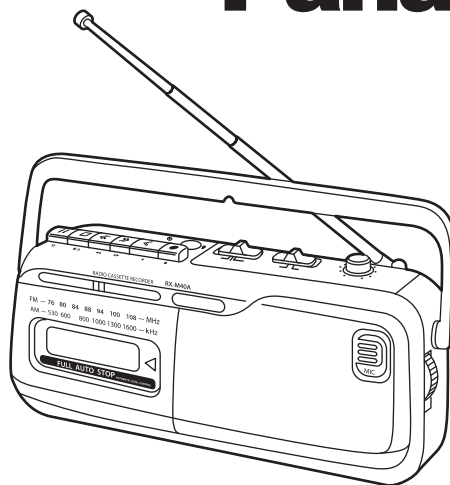
■テープ部

トラック方式 : モノラル
録音方式 : AC バイアス
消去方式 : マグネット消去
モニター方式 : バリアブルサウンドモニター
周波数範囲 : 70 ~ 10,000 Hz (ノーマルポジション)
(JEITA)

■共通部

スピーカー : 10 cm 丸形 3 Ω 1 個
出力端子 : イヤホン (φ 3.5 mm モノラルミニプラグ)
実用最大出力 : 1 W (DC 時) (JEITA)
電池持続時間 : 録音時; 約 44 時間
(JEITA) 再生時; 約 34 時間 (Vol.8 付近)
(パナソニックマンガン単 1 形乾電池 R20 (別売) 使用時)

Panasonic®



保証書別添付

付属品

電源コード 1 本

(品番 K2CA2CA00010) ※

※品番は 2010 年 6 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

CLUB Panasonic

Pana Sense



付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」
でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。
<http://p-mp.jp/cpm>

電源 : AC 100 V、50/60 Hz
乾電池; DC 6 V (単 1 形乾電池 × 4 個)

消費電力 : 4 W

「切換」つまみ「テープ / 電源切」時の消費電力
..... 約 1.2 W (AC のとき)

最大外形寸法 : 幅 308 mm × 高さ 138 mm × 奥行き 122 mm (JEITA)

質量 : 約 1.3 kg (乾電池なし)
約 1.7 kg (乾電池含む)

この仕様は、性能向上のために変更することがあります。
電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

使用上のお願い

本体の故障・破損の原因となりますので次のことを守ってください。

- ・ 落としたり、強い衝撃を与えない。
- ・ 風呂場など湿気の多いところ・倉庫などほこりの多いところで使用しない。

愛情点検

長年ご使用のラジオカセットレコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

・ 煙が出たり、異常なおいや音がする
・ 音が出ないことがある
・ 内部に水や異物が入った
・ 本体に変形や破損した部分がある
・ その他の異常や故障がある



ご使用
中止



故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

もし、異常が起これば

機器内部に金属や水、異物が入ったり、煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ・販売店にご相談ください。

設置について

放熱を妨げない



- ・内部に熱がこもると、機器のケースが変形し、火災の原因になります。
- ・壁から離し、風通しのよいところに設置してください。

電源コードについて

加工したり、無理な力を加えたりしない



- ・コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

プラグの差し込みが不完全な状態で使わない



- ・接触不良により発熱し、火災や感電の原因になります。
- ・たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

プラグにほこりや汚れがついた状態で使用したり、金属物に近づけたりしない



- ・電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因になります。
- ・半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまった汚れを取り除いてください。

雷について

雷が鳴ったら、機器の金属部、プラグに触れない



接触禁止

- ・誘導雷により、感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない



- ・落雷の恐れがあります。
- ・使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

ご使用について

電源は交流 (AC) 100 V を使う



- ・自動車や船などの直流 (DC) 電源に直接つないだり、指定外の電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない



- ・感電や火災の原因になります。
- ・特にお子様にはご注意ください。

警告

水をかけたりぬらしたりしない



水場使用
禁止

- ・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- ・水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
- ・雨天・降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

ねじをはずしたり、分解・改造しない



分解禁止

- ・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- ・内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

乾電池について

以下のことを守って正しく扱う

- 指定以外の電池を使わない
- ⊕と⊖は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長期間使用しないときは、取り出しておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない



- ・取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
- ・万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
- ・液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

注意

設置・接続について

不安定な場所に置かない



- ・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- ・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に湿度が高くなるところに置かない



- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

持ち運びについて

アンテナを伸ばしたまま持ち運んだり、コードを接続した状態で移動しない



- ・アンテナやコードがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。また、接続した状態で移動すると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。

電源コードについて

ぬれた手でプラグを抜き差ししない



- ・感電する恐れがあります。

抜き差しはプラグを持つ



- ・コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

熱器具に近づけない



- ・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- ・入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

ご使用について

イヤホン使用時は、音量を上げすぎない



- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく

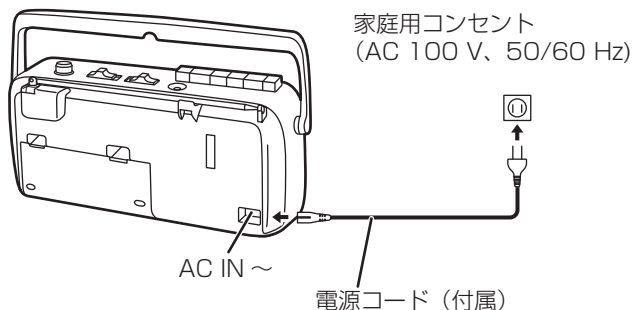


電源プラグ
を抜く

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単 1 形乾電池が使えます。

家庭用コンセントで



お知らせ

・長時間使用されないときは

本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。「切換」つまみを“テープ／電源切”にただけでは約 1.2 W の電力を消費しています。

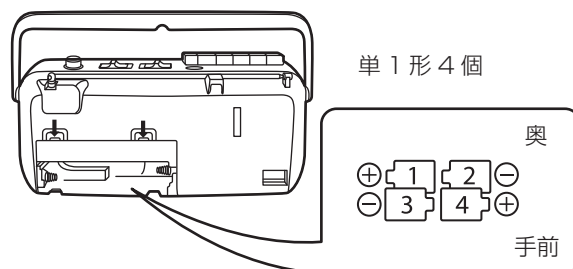
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

乾電池（別売り）で

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

本機後面の電池ふたを開け、下の図の番号順に電池を入れる

⊕、⊖を正しく入れる



⊖側に押しながら入れる

●電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

奥の乾電池を取り出すときは

番号 2 の ⊖ 側を強く押すと ⊕ 側が浮き上がり容易に取り出せます。

乾電池の交換時期

本機を使用中、電源 / 電池ランプが暗くなったり消えたときは、電池をすべて交換してください。

ラジオを聞く

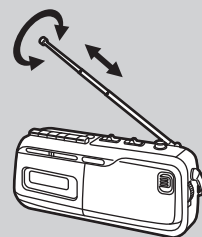


■イヤホンで聞くには

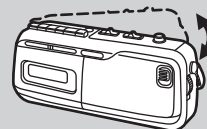
モノラルイヤホン（別売り）をイヤホン端子に接続してください。（プラグタイプ：φ 3.5 mm モノラルミニプラグ）

■アンテナの調整

FM 放送のとき
ホイップアンテナの長さ
と向きを調整する



AM 放送のとき
本体の向きを調整する



お願い

・乗物や建物の中では電波が弱まるため放送が聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

■使用後は
「切換」つまみを
“テープ / 電源切” にする

テープを聞く

ノーマルポジション (TYPE I) のテープが使えます。

1 “テープ / 電源切” にする

2 「停止 / 取り出し」を押して、カセットテープを入れる

3 「再生」を押す

4 音量を調整する

5 音質を切り換える

■再生後、止めるには
「停止 / 取り出し」ボタンを押す

■一時的に止めるには
「一時停止」ボタンを押す

再度再生するには
もう一度「一時停止」ボタンを押す

お願い
一時停止状態では電源は切れていません。
長時間止めるときは「停止」ボタンを押してください。

テープの見える方を上にして入れる

再生面

■フルオートストップについて

本機にはオートリバース機能はありません。
録音・再生中または早送り・巻戻し中にテープが端まで来ると、自動的にボタンが戻り電源が切れます。

■早送り・巻戻しする

停止中に「早送り」、「巻戻し」ボタンを押す

■聞きたいところをさがす（キュー & レビュー）

再生中に「頭出し」、「くり返し」ボタンを押し続ける
キュルキュルという音を聞きながら早送り、巻戻しができます。
指を離れた位置から再生します。

■正しく再生できるテープ

ノーマル ポジション Normal position/TYPE I	○
ハイ ポジション High position/TYPE II	×
メタル ポジション Metal position/TYPE IV	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションテープを再生しても、その特性をいかすことができません。

お願い

テープのたるみは巻き取ってから使用してください。テープに傷が付いたり、切れる原因になります。

テープについて

■ 100 分以上のテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄くのびやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、お気をつけください。

■エンドレステープについて

エンドレステープを使用するときは、先にエンドレステープの使用説明をお読みください。エンドレステープの種類によって使用できないことがあります。

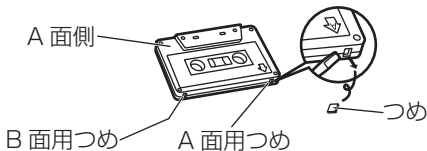
■保管について

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・高温（35℃以上）や高湿（80％以上）のところ
- ・磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

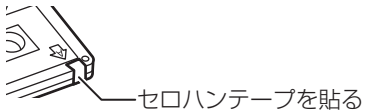
■録音済みのテープを誤って消さないために

ドライバーなどでつめを折りとってください。



もう一度録音するには

つめを折り取った部分にセロハンテープなどを貼って穴をふさぐ。



録音する

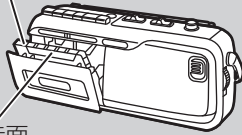
録音レベルは自動的に調整されます。

- ・ ノーマルポジション (TYPE I) のテープが使えます。
- ・ リーダーテープはあらかじめ巻き取っておいてください。

ラジオを録音するには

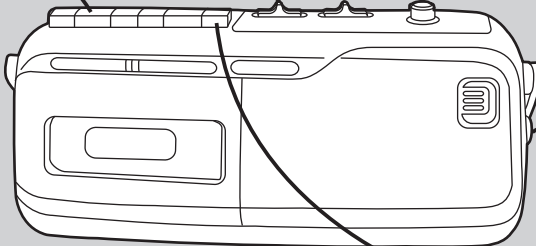
1 「停止 / 取出し」を押して、カセットテープを入れる

テープの見える方を上にして入れる




録音面

2 “FM” または “AM” に合わせる



3 録音したい放送局に合わせる



4 「録音」を押す

録音中は、録音している音を同時にスピーカーやイヤホンで聞くことができます。(モニター)

- ・ イヤホンの音量は音量つまみで調整できます。

■録音後、止めるには「停止 / 取出し」ボタンを押す

■一時的に止めるには「一時停止」ボタンを押す

再度録音するには
もう一度「一時停止」ボタンを押す

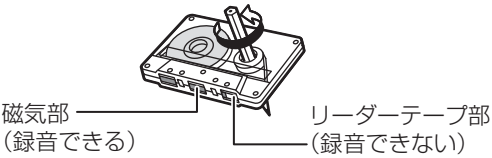
お願い
一時停止状態では電源は切れていません。長時間止めるときは「停止」ボタンを押してください。

内蔵マイクで録音するには

1. 「停止 / 取出し」ボタンを押して、カセットテープを入れる
 2. 「切換」つまみを“テープ / 電源切”にする
 3. 「録音」ボタンを押す
- ・ 内蔵マイクで録音しているときは、ハウリング（ピーという音）を防ぐため、モニターできません。

■リーダーテープについて

テープの端のリーダーテープ部（色の違う部分）を巻き取っておかないと、曲の始めが切れます。



■ AM 放送録音中、雑音（ピーという音）が多いときは（ビートブルーフ切換）

「BP」つまみを雑音の少ない方に切り換える

■正しく録音できるテープ

ノーマルポジション Normal position/TYPE I	○
ハイポジション High position/TYPE II	×
メタルポジション Metal position/TYPE IV	×

本機でハイポジション、メタルポジションテープを使っても、正しく録音・消去はできません。

著作権について

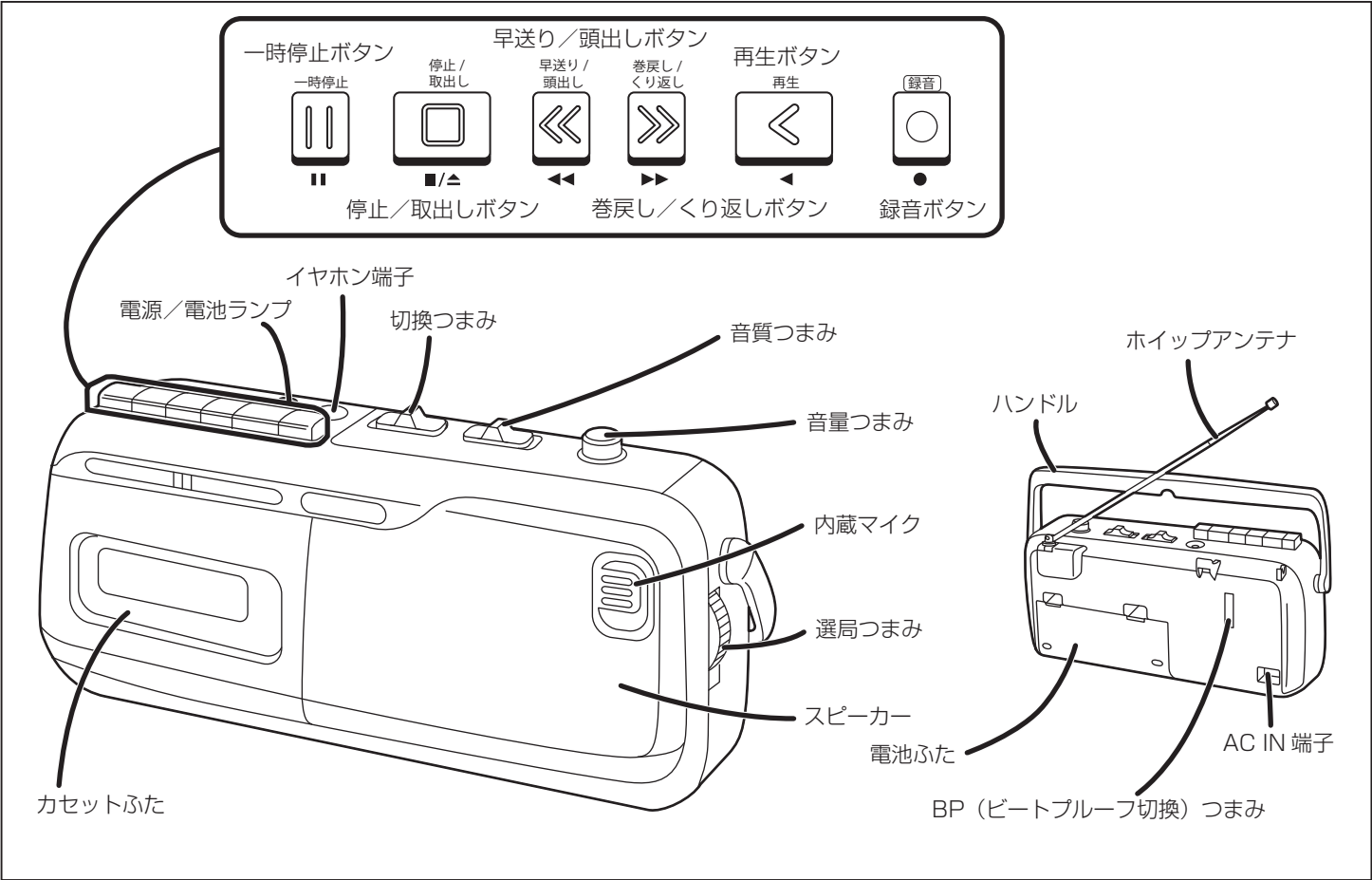
- ・ 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権により保護されています。
- ・ 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- ・ 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	(03)3481-2121	中部支部	(052)583-7590
北海道支部	(011)221-5088	北陸支部	(076)221-3602
仙台支部	(022)264-2266	京都支部	(075)251-0134
大宮支部	(048)643-5461	大阪支部	(06)6244-0351
東京支部	(03)3562-4455	中国支部	(082)249-6362
西東京支部	(03)5321-9530	四国支部	(087)821-9191
熊本・宮崎・大分支部	(096)221-1111	九州支部	(092)441-2285
横浜支部	(045)662-6551	鹿児島支部	(099)224-6211
静岡支部	(054)254-2621	那覇支部	(098)863-1228

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

各部のなまえ




お手入れ

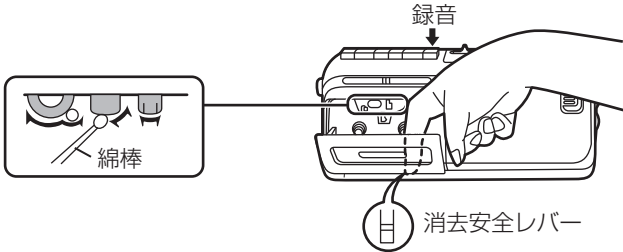
本体

- 本機が汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

ヘッド部

よい音質で録音・再生するために、約 10 時間使うたびに清掃することをおすすめします。

1. 「停止 / 取出し」 ボタンを押してカセットふたを開ける
2. 消去安全レバーを押しながら「録音」 ボタンを押す
ヘッド部が出てきます。
3. 下図の  (テープが触れる部分) の汚れを取る。
・市販のクリーニングキット (綿棒とクリーニング液) を使うと便利です。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、イヤホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処理をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認ください
テープ部	テープが走行しない。	・ 乾電池が消耗していませんか？ ・ 乾電池の入れかたが間違っていないか？ ・ 乾電池電源に切り換えるとき、電源コードを本体から外していますか？
	録音できない。	・ カセットテープの録音消去防止用のつまみが折れていませんか？
	雑音が多い。音質がよくない。	・ ヘッドが汚れていませんか？
	カセットが取り出せない。	・ 乾電池が消耗していませんか？
ラジオ部	雑音が多く、うまく選局できない。	・ アンテナの向きなどが悪くありませんか？
	雑音が入る。	・ 他の機器のリモコンを近くで使用していませんか？ ・ テレビと同時に使用していませんか？